



学 会 通 信

第 94 号

2020 年 5 月 18 日発行

## 目次

2020 年度第 27 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】	2
国際学会 ICoME 開催のご案内（オンラインでの開催）	5
2020 年度第 1 回研究委員会 研究会（オンライン開催）のご案内	7
2019 年度第 2 回研究委員会 研究会のご報告	8
企画委員会による「教師のセルフスタディ」誌の編集・発行について （第 1 報）	9
投稿規程の改定と論文投稿のご案内	12
理事会（定例）議事録（抄）	14
学会費納入のお願い，入会者・退会者	16

---

## 2020 年度第 27 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】

---

2020 年度日本教育メディア学会第 27 回年次大会にあたってのご挨拶

大会実行委員長 市川尚（岩手県立大学）

第 27 回日本教育メディア学会年次大会は、2020 年 10 月 17 日（土）と 18 日（日）の 2 日間で開催いたします。新型コロナウイルスの感染拡大にともない、イベント開催などが制限される状況が続いておりますので、第 27 回年次大会は、岩手県立大学での現地開催とオンライン開催の両方の実施可能性を考慮しながら、当面は準備を進めることに致しました。よって、第 1 報では両方のプログラムを掲載させていただきます。また、感染リスク軽減の観点から、懇親会は行わないことに致しました。このような状況でございますので、開催内容が流動的になっておりますことを、あらかじめご了承ください。

2020 年度は、新学習指導要領の全面実施が小学校でスタートし、中学校や高等学校の実施も目前となっています。1 人 1 台を見据えた GIGA スクール構想による環境整備が進み始めており、授業での ICT 活用や情報活用能力の育成が今後ますます重要になってきます。一方で、コロナ禍により、特に大学はオンライン授業への暫定的な切り替えが必要となり、本学会関係者も対応に追われるなど、あわただしい状況が続いております。状況がおさまるまでの代替措置ではありますが、多くの教員がオンライン授業を経験することは、ICT 活用促進への何らかの起点となる可能性もあると考えられます。年次大会では、このように教育環境が変化するなかで、学会として何が貢献できるのかを考えていく機会になればと思っております。

平常時であればぜひ岩手にお越しいただきたいところではございますが、現地開催とオンライン開催のどちらであっても皆様にとって有意義な時間となりますよう、準備を進めて参ります。先が見えない状況のなかで、年次大会のことを考える余裕がない方々も多いとは思われますが、まずは第一報としてご案内いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### 1. 日時と場所

2020 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

岩手県立大学（滝沢キャンパス）〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

アクセス:盛岡駅より、IGR で滝沢駅まで 15 分+徒歩 15 分、バスで岩手県立大学下車 30-40 分

## 2. 大会プログラム

現地開催	オンライン開催
10月17日(土)	
12:00- 受付 12:30-13:20 総会 講堂 13:30-14:30 大会企画 1 オープニングセッション 登壇者:小柳和喜雄(関西大学)ほか 講堂 14:40-16:40 一般研究発表1, 企画委員会特別 セッション「教師のセルフスタディ」共通講義 棟2階	12:20- 接続 12:30-13:20 総会 13:30-14:30 大会企画 1 オープニングセッション 登壇者:小柳和喜雄(関西大学)ほか 14:40-15:00 接続環境確認 15:00-17:00 一般研究発表1, 企画委員会特別 セッション「教師のセルフスタディ」
10月18日(日)	
09:00- 受付 09:30-11:30 一般研究発表2 共通講義棟2 階 11:30-12:30 昼食 12:30-14:30 大会企画2 コロナ禍における初等中等教育を支える 教育メディア(仮) 講堂 14:40-16:40 課題研究 共通講義棟2階	09:10- 接続環境確認 09:30-11:30 一般研究発表2 11:30-12:30 昼食 12:30-14:30 大会企画2 コロナ禍における初等中等教育を支える 教育メディア(仮) 14:40-16:40 課題研究 16:50-17:20 リフレクション

## 3. 課題研究プログラム

以下の4件のテーマを予定している。タイトルはいずれも仮です。詳細は第二報にて案内予定。

- ・ 課題研究 1 「GIGA スクール時代の ICT 環境・開発・活用」  
     コーディネータ：前田康裕（熊本大学）・中川一史（放送大学）
- ・ 課題研究 2 「新型コロナウイルスの時代のオンライン教育：実態，変化と改善点」  
     コーディネータ：鄭仁星（国際基督教大学）
- ・ 課題研究 3 「メディア・リテラシーを育む学習環境の多様性と新展開」  
     コーディネータ：宇治橋祐之(NHK 放送文化研究所)・中橋雄(武蔵大学)
- ・ 課題研究 4 「コロナ禍における高等教育でのオンライン授業の実践と課題」  
     コーディネータ：村上正行（大阪大学）・岩崎千晶（関西大学）・渡辺雄貴（東京理科大学）

#### 4. 大会までのスケジュール・発表申し込み

- 7月上旬 参加申し込み受付開始
- 7月31日 課題研究プロポーザル締切
- 8月17日 課題研究結果通知・一般研究発表申し込み開始
- 9月23日 課題研究・一般研究原稿提出期限，事前参加費振込期限
- 9月30日 参加者申し込み締め切り

#### ○発表申し込み・原稿締切について

- ・発表は会員であることが必須です。発表申込時点までに入会手続きを済ませてください。
- ・会員1名が発表できる件数は，課題研究1件・一般研究1件の計2件までとします。
- ・英文での提出も受け付けます（10件程度）。英文の場合，発表も英語で行ってください。（提出先：学会年次大会 Web サイト上で行う）
- ・現地開催，オンライン開催に関わらず，口頭発表の実施をもって発表とします。Zoomを使用できる環境をご用意ください（Zoomのアカウントは学会側で提供します）。

#### 5. 参加費について

参加申し込みは，学会員・非会員とも学会年次大会 Web サイトよりお申し込みください（7月案内開始予定）。オンライン開催の場合，振り込みを確認した後，ZoomのミーティングIDとパスワードを通知しますので，事前振り込みにご協力ください。

- ・参加費は，昨年通り，以下の通りとします。

会員	3,000 円(事前)	4,000 円(当日)
学生会員	1,000 円(事前)	2,000 円(当日)
非会員	4,000 円(事前)	5,000 円(当日)
※ただし，非会員の現職教員は無料		
学生非会員	2,000 円(事前)	3,000 円(当日)

#### 6. その他・お問い合わせ

前回大会に引き続き本大会において，発表予稿集は刊行せず，会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。ご自身の端末等を持参するか，事前に学会の Web からプログラムを印刷してきてください。

年次大会に関するお問い合わせは，下記までお願いいたします。

第 27 回年次大会事務局

岩手県立大学ソフトウェア情報学部 市川研究室

メールアドレス jaems.taikai2020@gmail.com

---

## 国際学会 ICoME 開催のご案内（オンラインでの開催）

---

研究委員会 国際研究会 ICoME 担当

- 日程：2020年8月17日-18日 ※オンライン開催に伴い1日短縮
- 場所：ビデオ会議システム Zoom を用いたオンライン開催

ICoME (International Conference for Media in Education) 2020 は、今回で第18回目の実施となります。日本教育メディア学会 (JAEMS)、韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)、中国教育工学会 (CAET)、アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、2020年8月17日から18日に開催されます。

ICoME は、国内外からの多くの教育研究者や実践者が集まり、教育メディアや教育技術に関する貴重な研究や実践の発表、共有の場となります。本会が、各国の研究者間で行われる互恵的な意見交換の場となりますよう、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

なお、2020年の ICoME は、新型コロナウイルスの拡大を受け、オンサイトでの開催が困難であると判断し、オンラインで開催することとなりました。オンライン開催への変更に伴い、論文提出のスケジュールや、学会期間中のプログラムにも大きな変更が生じております。参加をご予定の皆さまは、学会通信に記載されている事項に加え、ICoME2020 ウェブサイト、JAEMS ウェブサイトおよびメーリングリストにて最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。

- 日時：2020年8月17日（月）-18日（火）
  - 場所：ビデオ会議システム Zoom を用いたオンライン開催
  - テーマ：Diversity education in ICT advanced society
- ※教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。
- ウェブサイト：<https://icome.education/>
- ※学会に関する最新の情報は随時ウェブサイトにてお知らせいたします。

### ■プログラム

17日（月）：Opening Ceremony / Keynote / Roundtable Session

18日（火）：Keynote / Concurrent Session / Closing Ceremony

※17日の Roundtable Session 後に、各国の大学院生や学部生が集うインフォーマルセッションを用意していますので、奮ってご参加ください。

※プログラムは直前まで変更の可能性があります。

### ■プレゼンテーションの種類と論文等の提出

#### Concurrent Session

- ・大学教員，博士課程大学院生，現職教員などを対象
- ・プロポーザルの提出とその承認を必要とします（プロポーザル提出期限：5月31日）
- ・4-8ページのフルペーパー提出を必要とします（フルペーパー提出期限：7月31日）
- ・提出されたフルペーパーはオンライン上で公開します
- ・フルペーパーとプレゼンテーションはすべて英語

### **Roundtable Session**

- ・修士課程大学院生，学部生を対象
- ・プレゼンテーションタイトルのみで，プロポーザルの提出はありません（プレゼンテーションタイトル提出期限：5月31日）
- ・400語程度，1-2ページのアブストラクト提出を必要とします（アブストラクト提出期限：7月31日）
- ・提出されたアブストラクトはオンライン上で公開します
- ・アブストラクトとプレゼンテーションはすべて英語
- ・優秀発表者には，「Young Scholar Award」が授与されます（発表者全体の20%程度）
- ・学会初日（8月17日）のセッション終了後にインフォーマルセッションを設けています

### **■学会までのスケジュール（プロポーザル・論文提出・参加申込期限）【厳守】**

プロポーザル提出（Concurrent Sessionのみ）	5月31日（日）
プレゼンテーションタイトル提出（Roundtable Sessionのみ）	5月31日（日）
著者への通知（Concurrent Sessionのみ）	6月1-2週目
フルペーパー提出（Concurrent Sessionのみ）	7月31日（金）
アブストラクト提出（Roundtable Sessionのみ）	7月31日（金）
参加申込（プレゼンテーション予定者・参加者両方）	7月31日（金）

※プレゼンテーション予定者は，必ず参加登録も済ませてください

※プレゼンテーションを伴わない参加者も，ZoomのIDおよびパスワードの発行のため，必ず期日までに参加登録を済ませてください（7月31日まで）

### **■参加費**

大学教員／初等中等学校教員／企業関係者・団体職員／その他	7,000円
大学院生（博士課程・修士課程）	2,000円
学部生	1,000円

※参加費の支払いは，銀行振込とします。振込先口座は，参加申込者に対しメールにてお知らせします。

### **■問い合わせ**

ICoME2020に関するお問い合わせは，以下のメールアドレスをお願いいたします。

contact@icome.education（日本語可）

---

## 2020 年度第 1 回研究委員会 研究会（オンライン開催）のご案内

---

テーマ「新たな可能性を見出す教育実践とメディア利用／一般」

研究委員会 国内研究会担当 委員長 堀田博史  
本企画担当 川瀬基寛（十文字学園女子大学）

- 日 時 2020 年 7 月 25 日（土）13:00～16:00
- 場 所 オンライン開催
- 主 催 日本教育メディア学会
- 参加費 無料
- 対 象 本研究会は学会員，非会員問わず参加することができます。

現在，新型コロナウイルス感染拡大により，多くの教育機関は休校措置をとっています。各地の大学では文部科学省が例示する「インターネットを利用した遠隔授業」を導入することを決め，すでに遠隔教育が実施されはじめています。その一方で，初等教育の現場などでは ICT 環境整備の遅れも散見され，多くの公立小・中学校の児童生徒は教科書も読むこともなく家庭内でのドリル学習に終始していることが多い状況です。

そこで，子どもたちの学びを止めないためにも，大学教育をはじめとして，メディア/ICT を活用した子ども達の学習支援や環境支援，地域が率先して実施する学びの機会，遠隔教育実践のデザインなどの研究・実践を広く募集します。

アナログをデジタルに置き換えるだけでは対応できないであろう，今後の教育機関の変革に対して，このコロナ禍での様々な取り組みから可能性を探っていきたいと思います。

発表希望者は，以下の Web サイトより必要事項を明記の上，お申し込み下さい。

<https://forms.gle/U3oY1MWZKeZmgCgs8>

発表原稿は，以下の研究会原稿テンプレートを参考に作成下さい。

<http://jaems.jp/meeting/guideline.html>

- 発表申込開始日 2020 年 5 月 11 日（月）
- 発表申込締切日 2020 年 6 月 5 日（金）
- 原稿送付締切日 2020 年 6 月 19 日（金）
- プログラム公開日 2020 年 7 月 1 日（水）
- 参加申込期間 2020 年 7 月 1 日（水）～2020 年 7 月 20 日（月）

※2020 年度第 2 回研究会は，2020 年 12 月 19 日土曜日に，椋山女学園大学文化情報学部（星ヶ丘キャンパス文化情報学部棟 1 F）で（担当委員：亀井美穂子）開催する予定です。

---

## 2019 年度第 2 回研究委員会 研究会のご報告

---

テーマ「情報活用能力（プログラミング、情報モラル等を含む）指導における  
教育メディアの活用・教材開発／一般」

2020 年 1 月 26 日（日）、「2019 年度 第 2 回研究会」が和歌山大学教育学部附属小学校にて開催されました。研究会前日の 25 日（土）には、同附属小学校にて「第 12 回 ICT 活用授業研究会」が開催されており、当研究会との連続企画としてアナウンスさせていただいたところ、両日参加される方も多数おられました。附属小学校の研究会は、プログラミング・情報活用能力・情報モラル・データサイエンス等の特徴的なテーマを元に 8 本の授業を公開し、全国から 200 名を超える方々が集まりました。学会にても当日資料を配布させていただきましたが、PDF 版資料等はこちらで参照できますのでぜひアクセスしていただければ幸いです。（<http://www.aes.wakayama-u.ac.jp/kenkyukai/ict-ken/>）

今回の日本教育メディア学会の研究会は、附属小 ICT 活用研究会との連続企画としての設定により、テーマにも関連性をもたせ「情報活用能力（プログラミング、情報モラル等を含む）指導における教育メディアの活用・教材開発／及び一般」としました。その結果、20 件の研究発表の申し込みをいただき、日曜日開催にもかかわらず 40 名を超える参加者に和歌山までお越しいただきました。



A 会場では、主に今回のテーマに関係した発表がなされました。午前中には情報活用能力に関する実践事例やその理論的な研究発表が、午後からはタブレット端末活用の実践、そして学校放送番組を活用した授業やプログラミングに関する具体的な事例、プログラミング授業推進のための校内研修の評価等の発表があり、各方面の先進事例の成果が示されたといえます。

B 会場では、主に一般研究の発表がなされ、普通教室におけるメディア活用の成果、先端的な視聴覚教材の各種活用事例、日本語教育や平和教育、著作権に関する研究といった発表が続きました。その他にもワークショップ事例や思考力育成に関する研究など、多分野に渡る発表がなされ、教育メディア研究の幅の広さを示す事ができました。

研究発表は、両会場通して滞りなく進行しましたが、「1 件につき発表 20 分・質疑 8 分」という比較的長い目の時間設定によって、しっかりと研究の中身を伝えることができ、論点を明確にできていたように思います。ベテラン研究者から院生の発表もある中、座長の巧みなコーディネートによって、質問・意見も尽きることなくアットホームな雰囲気の中で進行できました。日曜日開催で遠方からお越しの方々も多かったため、お疲れを持ち越したかもしれませんが、充実した発表内容からそれ以上に得るものが大きかったのではないのでしょうか。

最後に、当研究会にご参加・ご発表いただきました皆様、研究会の案内・会場運営等に参画いただきました皆様に改めて感謝致します。ありがとうございました。

文責：豊田充崇（和歌山大学）

---

# 企画委員会による「教師のセルフスタディ」誌の編集・発行について

## (第1報)

---

企画委員会

第9期企画委員会では、教育実践の充実度を学会から発信すること、学校教員による実践研究の第一歩として、学会誌「教育メディア研究」とは別に、教育実践による論文報告集をオンラインで発行することを計画しています。①自らが計画・実践した教育実践であり、②本年度開催される学会年次大会で発表をする(課題研究・一般研究を問わない)という条件を満たしたものについて、投稿していただけるように準備をしています。昨年度第1集(<http://jaems.jp/kikaku/self-study/vol1/>)が発行されたのにつき、2020年度中に第2集を発行する予定です。初等・中等教育機関に所属する教員の発表を優先しますが、高等教育機関において、自ら教育実践を計画・実施した方も対象としております。

査読なしの教育実践研究としますが、企画委員会で閲読した上で、修正点をアドバイスします。また、各論文については、企画委員会からひとことコメントを付ける形でその実践の良さや特徴などをより明確にしたうえで発行します。

スケジュールと執筆の手引きについて、以下に掲載しますので、奮ってご投稿ください。投稿先等の情報については、第二報でご案内します。

なお、10月に岩手で開催される年次大会におきましては、この企画と連携させた一般研究「教師のセルフスタディ」をテーマとした特別セッションを予定しておりますので、奮ってご発表ください。

### 投稿・質問の宛先

[9th\\_event@jaems.jp](mailto:9th_event@jaems.jp) (企画委員会)

### スケジュール

- ・10月17日-18日(学会年次大会開催)※一般研究「教師のセルフスタディ」セッションを開催予定
- ・12月20日締切
- ・1月20日ごろ閲読結果の返送
- ・2月15日著者による最終投稿
- ・3月15日編集完了および公開

### 電子ジャーナル掲載論文の執筆の手引

1. 執筆者(筆頭筆者)は、学会の正会員でなければいけません。当該年度の年次大会で発表した教育実践を対象とします。共著は可ですが、実践者本人が筆頭著者を務めてください。
2. 原稿は、執筆者自身が教育実践を深く振り返るとともに、読者がその実践を共有し、活かすことができる論文で、6ページ以上、10ページ以下とします。

※「教育メディア研究」をはじめとした学会誌の投稿につなげる実践研究の第一歩という位置付けですので、研究としての新規性は特に求めません。しかし、実践者本人としてより深いリフレクションを心がけたり、客観的なデータを示す工夫をしたりしてください。なお、査読は行いませんが、読みやすさを高めるために企画委員会で閲読を行います。

3. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、学会の年次大会や研究会などでの発表、プリントの場合は、未発表の扱いとします。

4. 執筆者は、原稿が第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証するものとします。執筆後に投稿された論文が、第三者の権利等の侵害に起因する問題を生じさせた場合、当該論文の著作者が一切の責任を負うものとします。

## 5. 投稿方法

企画委員会が用意をする宛先にメールによりご投稿いただきます（9th\_event@jaems.jp）。

## 6. 論文の構成

論文は、タイトル、要旨（400字以内）、キーワード（6個以内）、本文、注、引用参考文献により構成します。

## 7. 版組・書式

### (1) 版組

- ・用紙：B5・縦置き・横書き
- ・余白：上 24mm，下 22mm，左 20mm，右 24mm
- ・段組：横 20 字×縦 43 行×2 段組（ただし、タイトル、執筆者名、要旨、キーワードは 1 段組）

### (2) 行間

- ・タイトル（サブタイトル）前後：各 1 行
- ・執筆者名後：1 行
- ・要旨後：1 行
- ・キーワード後：1 行
- ・見出し前：1 行
- ・欧字執筆者名後：3 行
- ・図・表・写真の上下：各 1 行

### (3) 見出しについては、以下のような扱いとします。

- ・1., 2., 3.（最上位の見出し）：見出しと本文の間に 1 行行間
- ・1.1., 1.2., 1.3.（下位の見出し）及びこれ以下のもの：下位の見出しと本文の間は行間なし。

#### (4) 表記細則

- ・和文は明朝体 (MS 明朝, ヒラギノ明朝 pro 等) またはゴシック体 (MS ゴシック, ヒラギノ角ゴ pro 等), 英文は Century/Times/Times New Roman とし, 下記の大きさに準拠します。
- ・タイトル: 明朝体 (ボールド), 12 ポイント, 中央寄せ。なお, 読点はいれません。
- ・執筆者名: 明朝体, 9 ポイント, 右寄せ
- ・執筆者所属: 明朝体, 9 ポイント, 右寄せ
- ・要旨: 明朝体, 8.5 ポイント, 両端揃え
- ・キーワード: 明朝体, 9 ポイント, 両端揃え
- ・本文: 明朝体, 9 ポイント, 両端揃え
- ・見出し・小見出し: ゴシック体 (ボールド), 9 ポイント, 左寄せ
- ・図/写真タイトル: ゴシック体, 9 ポイント, 図/写真下部に左寄せ
- ・表タイトル: ゴシック体, 9 ポイント, 表上部に中央寄せ
- ・欧字執筆者名: Century/Times/Times New Roman, 9 ポイント, 右寄せ
- ・数字・欧字は, すべて半角に統一する (ただし固有名詞・慣用句の数字は漢数字)。
- ・句読点は, 「,」「。」です。
- ・表記は, 引用文を除き, 常用漢字・新送り仮名を原則とします。
- ・年代表記は, 西暦とし元号を用いる場合は, 西暦 (元号) とします。
- ・人名は初出の場合は, 氏名表記とし, 再出では氏のみでの表記とする。なお外国人の場合はカタカナ表記とし, パーレン括弧によって欧字表記もつけます。例: ジョン・デューイ (John Dewey)
- ・差別用語を用いないように細心の注意を払ってください。

#### 8. 注・引用・参考

注・引用・参考の方法および文献の表記方法については, 日本教育工学会 (<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>) の方法を参照してください。

#### 9. 掲載後の著作権

(1) 電子ジャーナルに掲載された論文の著作権は, 本学会に帰属します。また, 著作者は, 本学会が作成する Web サイトに論文を掲載・提供することに許諾したものとします。

(2) 論文について, 執筆者自身による教育目的での利用 (著者自身による著作物への転載, Web サイトへの掲載, 複写による配布等を含む) は, 本学会に許諾申請をする必要はありません。ただし, 出典 (論文題目, 電子ジャーナル名, 掲載年等) を記載してください。

---

## 投稿規程の改定と論文投稿のご案内

---

編集委員会

### 投稿規程の改訂について

2020年4月19日の理事会において、『教育メディア研究』の投稿規程（参考文献の引用に関わる部分）を、以下のように改訂し、附則をそれに合わせて修正しました。

新	旧
(4) 表記細則	(4) 表記細則
...略...	...略...
・本文中での参考文献の引用は、次のようにする。 (例) KUBOTA(2020a)は..... IKUTA (2020) は..... .....といている (KUBOTA 2020b) .....といている (生田 2020)	・人名は初出の場合は、氏名表記とし、再出では氏のみを表記とする。なお外国人の場合はカタカナ表記とし、パーレン括弧によって欧字表記もつける。例：ジョン・デューイ (John Dewey)
なお、著者人数によって、下記のような表記とする。 単 著：(久保田 2020) あるいは (KUKBOTA 2020) 二 名：(久保田・生田 2020) あるいは (KUBOTA and IKUTA 2020) 三名以上：(久保田ほか 2020) あるいは (KUBOTA et al. 2020)	
附則	附則
...略...	...略...
(6) 本規程は平成 29 年 10 月 14 日から実施する。 (7) 本規程は 2020 年 4 月 19 日から実施し、第 27 巻 1 号から適用する。	(6) 本規程は平成 29 年 10 月 14 日から実施し、第 24 巻 2 号から適用する。 (7) 本規程は平成 29 年 10 月 14 日から実施し、第 27 巻 1 号から適用する。

## 論文投稿のご案内

〆切：随時

『教育メディア研究』では、一般論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

---

## 理事会（定例）議事録（抄）

---

### 第9期 第4回理事会議事録

[日 時] 2020年4月20日（土）13:00-16:00

[場 所] テレビ会議（Zoom）で結び実施

[出 席] 会長，理事26名，監事2名

会長：小柳和喜雄

理事：宇治橋祐之，中橋雄，永田智子，泰山裕，黒上晴夫，佐藤慎一，今野貴之，村上正行，鄭仁星，堀田博史，岸磨貴子，久保田賢一，影戸誠，山本良太，市川尚，岩崎千晶，寺嶋浩介，齋藤ひとみ，関戸康友，中川一史，鈴木克明，堀田龍也，渡辺雄貴，後藤康志，稲垣忠

監事：浦野弘，佐々木輝美

事務局：池尻良平

#### <審議・報告事項>

##### （1）入会者・退会者・除籍者について（事務局）

副事務局長から，前回理事会以降の入会者・退会者・除籍者について説明があり，審議の結果承認された。

##### （2）2019年度事業報告・2020年度事業計画について（事務局）

事務局長から，「2019年度事業報告・2020年度事業計画案」が示された。

この後進められる各委員会での審議結果に合わせて修正する旨確認の上，審議の結果承認された。

##### （3）2019年度決算報告・2020年度予算案について（事務局）

事務局長から，「2019年度決算報告・2020年度予算案」が示され，審議の結果承認された。

監事から，監査報告について，昨今の状況で対面での監査が実施できておらず，次回理事会までに監査を完了させる予定で進める旨報告され，了承された。

##### （4）会員管理システムの導入について（事務局）

資料に基づき，会員管理システムの導入の状況や仕様について説明され，審議の結果，導入の方向で検討を進める旨，承認された。

##### （5）編集委員会（国内担当）

資料に基づき，参考文献の表記方法に関する投稿規程の改定について審議され，承認された。また，論文数の発行状況について報告された。

(6) 編集委員会（国際担当）

資料に基づき、論文誌の発行状況について報告された。

(7) 研究委員会（国内担当）

資料に基づき開催報告と 2020 年度の開催予定について報告され、審議の結果、承認された。

(8) 研究委員会（国際担当）

資料に基づき、ICoME2020 のオンライン開催の予定について報告された。また、その開催方法や参加方針、参加費等について審議の結果、承認された。

(9) 年次大会委員会

資料に基づいて、第 27 回年次大会の予定について報告があった。また、状況によっては Zoom による遠隔開催とする旨、審議の上、承認された。

(10) 企画委員会

資料に基づいて、「教師のセルフスタディ」について報告があった。また、企画委員の中での学会参加費等助成を進める旨、審議の上、承認された。

(11) 広報委員会

資料に基づき、Web の更新状況について報告された。また、学会通信の台割りについて、審議の結果承認された。

(12) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会

資料に基づき、論文選考手順について報告された。

(13) その他

昨今の状況に鑑みた学会全国大会や総会のオンライン化についての他学会の状況について情報共有がなされた。

・次回理事会開催について

10 月 17 日（土）10：00 から岩手県立大学にて開催。

---

## 学会費納入のお願い，入会者・退会者

---

### ◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ，デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

### ◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを実にお届けするために，学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は，事務局までメールアドレス，お届け先住所の情報をお送りくださるよう，よろしくご願ひいたします。

#### 【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（3名）・・・黒田麻衣子，豊吉泰典，村津啓太

退会者・正会員（12名）・・・小川もも美，市村祐一，田中洋一，梅田泉，竹田眞理子，松野成孝，  
近藤智嗣，村瀬康一郎，石原一彦，森田壘，川村義治，青木繁

種別変更（2名）・・・杉本大昂，大井田かおり

#### 【除籍者】

正会員（18名）・・・浅井勝，荻間澤勇人，五嶋正治，駒谷真美，下村岳人，鈴木祐，五月女仁子，  
中島智秀，中村武弘，西光一，納庄聡，橋爪慧，平島和雄，藤村知子，松本侑馬，

村上郷子, 村上徹, 森戸篤也

学生会員 (4名)・・・井上彩子, 上智樹, 佐藤明香, 吉村奏

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 ([office@jaems.jp](mailto:office@jaems.jp)) までご連絡ください。

-----  
第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

-----  
会員総数 370名・16団体

名誉会員：4名

正会員：296名

学生会員：34名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

(2020年5月7日 現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail : <a href="mailto:office@jaems.jp">office@jaems.jp</a> 学会ホームページ URL : <a href="http://jaems.jp/">http://jaems.jp/</a>	委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学) 副委員長 岩崎千晶 (関西大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 遠海友紀 (東北学院大学) 竹中喜一 (愛媛大学) 多田泰紘 (関西大学)